

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

大崎工業株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県豊田郡大崎上島町中野977番地

(3) 業種

化学薬品製造(1639)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度(2013年度)を基準年度とし、令和5年度(2023年度)から令和9年度(2027年度)までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産販売量(t)

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成25年度 (2013)	令和9年度 (2027)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	
エネルギー 起源CO ₂	1.250	0.77 38.4	0.97 22.4	0.60 52.0				
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
温室効果ガス 排出量総計	1.250	0.77 38.4	0.97 22.4	0.60 52.0				100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.450	0.33 26.7	0.42 7.3	0.39 13.3				100.0
実績に対する 自己評価	重油からLNGに転換し、電力会社もCO2フリー(2024年9月より)となった為、原単位が下がった。							

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料転換による排出量の削減	・ CO2の排出量を38%削減	・ 温室効果ガスの排出の少ない燃料への転換（A重油⇒LNGガス化） ・ 2024年度はLNGで操業した
2	電気使用量の削減	・ 購入電力を5%削減	・ 50kw太陽光発電設備の導入 ・ 導入済
3	電力会社変更により、排出量の削減	・ CO2の排出量を25%削減	・ Daigasエナジー販売のCO2フリーの電気を購入 ・ 2024年9月よりDaigasエナジーに変更した
4	スチームトラップ診断により、ロス削減	・ 蒸気ロスを1%削減	・ トラップメーカーT L Vに診断を依頼し不良トラップを交換

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。